

農林水産業関連

1 青刈りハカマの粗飼料利用が本格始動

1月13,14日、伊仙町でさとうきび収穫残さである青刈りハカマの回収と牛への給与利用が本格始動した。

回収者組織と利用者3人が1グループとなり、回収者がほ場でハカマの重量を測定後、利用者が運搬車両で受け取り、重量に応じて課金する仕組みである。回収日時、ほ場、量についてはSNSで連絡を取り合い、効率化を図っている。

青刈りハカマは、牛の採食性が良く、利用者から好評であった。当課では、ハカマロールと併せて未利用資源の活用によるコスト低減の支援を継続する。



2 グラジオラス栽培希望者へ基本技術と実証内容を周知

1月10日に徳之島町の生産者ほ場でグラジオラス栽培検討会を行い、グラジオラス栽培に興味がある3人を含む9人が参加し、基本技術について情報提供した。

また現在、種苗費の削減を目的とした分割した球根の植えつけや、省力化を目的とした、ばれいしょ植付機による球根の植えつけについて実証しており、その生育状況を検討した。

参加者からは、ばれいしょ植付機を活用できることについて、好意的な意見が得られた。当課では、今後も栽培希望者への支援を継続する。



3 かぼちゃ生産者へ病虫害対策を周知

1月16日、徳之島町で、ＪＡ共販外の春かぼちゃ栽培講習会が開催され、関係者、生産者計22人が参加した。

会では、かぼちゃ栽培の基本技術に加え、抑制作型でチョウ目害虫による葉の食害が多発したことを踏まえ、早熟作型での発生警戒を促すとともに、防除対策を重点的に情報提供した。

ＪＡ共販外の春かぼちゃ栽培講習会は初めての開催であったが、新規生産者を含め、生産意欲の高い生産者が多く参加した。当課では、今後も生産者への支援を継続する。

